京城日報 朝刊

ソロモンの新戰果

艦船廿六隻擊沈破

敵機二百三十七を屠る

昨夏來未發表分

大本營發表(二月十三日十七時) 帝國海軍部隊が昨年八月七日以降本年二月七日迄にソロモン群島及ニューギニヤ島方面に於て收めたる未發表の戰果並に我方の損害左の如し

△戰果

	擊沈	擊破	計
一、艦艇			
驅逐艦	〇	三	三
潛水艦	四	四	八
魚雷艇	三	〇	三
哨戒艇	一	一	二
計	八	八	一六

二、飛行機 擊墜二〇五 擊破三二 計二三七

三、船舶擊沈 八 擊破 二 計 一〇

△損害

	沈沒	大中破	計
一、艦艇			
巡洋艦	〇	一	一
驅逐艦	三	〇	三
潛水艦	三	四	七
哨戒艇	一	一	二
計	七	六	一三

二、飛行機 自爆及未歸還二二五 大破一一四 計三三九

三、船舶沈沒 五 大中破 五 計 一〇

艦艇損害四對一

敵の戰力を侮る勿れ

【東京電話】ソロモン群島およびニューギニヤ島を中心とする南太平洋方面における昨年八月七日以降本年二月七日までの半ケ年における帝國海軍の未發表戰果ならびにわが方の損害は十三日大本營より發表された、これは主としてニューギニア島、ガダルカナル島を中心とする航空部隊が間斷なき戰鬪によつて打ち樹てられたものであり、これにより南太平洋方面における帝國海軍の綜合戰果は實に艦艇擊沈九十八隻、擊破四十二隻、擊沈破計百四十隻、および飛行機擊墜一千百五十二機、擊破百五十九機、擊墜破計一千三百十一機、船舶擊沈三十三隻、擊破八隻、擊沈破計四十一隻といふ赫々たるものとなり、これと同時にこの間におけるわが方の損害も艦艇沈沒十九隻、大中破十六隻、計卅五隻、飛行機自爆および未歸還四百六十六機、大破百四十五機、計六百十一機、船舶沈沒十七隻、大中破十七隻、計廿七隻となつたものであり、南太平洋方面に擧つた帝國海軍の尊い犧牲決して少しとしない。この半ケ年間における大海戰のみでも第一次ソロモン海戰、第二次ソロモン海戰、南太平洋海戰、第三次ソロモン海戰、ルンガ沖海戰、レンネル島沖海戰、イサベル島沖海戰と七指を屈し敵アメリカは敗れても敗れても執拗に反攻をつづけて來た、しかしその反攻はその都度わが猛擊に潰え、今やわが陸海軍は緊密なる協力のもとソロモン群島ニューギニヤ島の各要衝に新作戰遂行への戰略據點を設定確立したのである

しかして南太平洋における半ケ年間の彼我損害を比較するならば艦艇において百四十隻對卅五隻(四倍)飛行機において一千三百十一機對六百十一機(二倍強)、船舶において四十一隻對廿七隻(一・五倍)となり緒戰のころにおける六倍、七倍の壓倒的勝利に比し著しくその損害の…とは注目すべき…のことは敵アメ…物語るとともに…耗戰であること…南太平洋に…空の決戰がつ…の樣相は今後…あらう

レンネル島沖海戰・勝利の記錄

【〇〇基地にて十三日高原海軍報道班員】傲氣にもソロモン群島に反擊を企てて出動した米國主力艦隊もわが海鷲必殺の雷擊の前には所詮敵ではなかつた、戰艦、巡洋艦、驅逐艦からなる敵大艦隊は一月二十九三十兩日のレンネル島沖における慘めな敗北にあへなくも散を亂して遁走し去つたのである、帝國海軍部隊の輝かしい傳統の雷擊はハワイ、マライ沖、珊瑚海、ソロモン海、南太平洋の海戰についでこゝにまた敵戰艦二隻、巡洋艦二隻を太平洋の底に叩き込んでさらに新しき勝利の一頁を加へたのだ、レンネル島沖海戰にあがつた榮ある海鷲の凱歌である、しかもこの海戰の行はれた海面こそは昨秋帝國戰艦が最期を飾つた附近、今こそその復讐は成し遂げられたのだ、またこの攻擊の第一に敢行された海鷲の雷擊は海戰以來はじめてのことであつたが、果敢無比のわが海鷲はあらゆる困難を克服してこれに成功大東亞戰爭戰史上にこれまた新しき記錄を殘したのである 現地の航空部隊にあつて得た同海戰詳報はつぎの通りである

海鷲、必殺の魚雷!

戰艦、忽ち海の藻屑

薄暮の南海に激鬪

南太平洋に連日嚴重な索敵の眼を光らせてゐる わが索敵機が敵主力部隊を發見したのは二十九日朝であつた、敵は大部隊をもつてソロモン群島南端サンクリストバル島の南方洋上を北上中である『敵主力部隊見ゆ』と第一報が直ちに打電された、前後左右に驅逐艦を配して厳重に警戒しつゝ、戰艦二隻を先頭に甲巡二隻、さらに乙巡數隻、米軍得意の輪型陣が洋上に白い航跡を殘して進航してゐる、索敵機はその狀況を逐々打電した、この報を受けた基地には一齊に緊張の空氣が漲つた 待望の好餌來るいまこそ日ごろの腕に物をいはせて敵艦を太平洋の海底深く擊沈するときが來たのだ、全員は敵艦隊の行動を固唾を呑んで注意するとともに出擊命令を今や遲しと待構へた、これを知つてか、知らずでか、敵主力部隊は一路北西へと航行を續けてゐる、觸接機は勇躍現場を目指して飛び立つた、やがて〇〇時〇〇分基地に雷擊命令が傳へられた『雷擊だぞ』凄愴の氣が基地全體を蔽ひ搭乘員たちには決死の色が溢れた『天候に支障なし、準備にぬかりなし』プロペラは朗らかな諧調を奏ではじめた、『成功を祈る』力強い部隊長の言葉に送られてN少佐の率ゐる一隊、H少佐の率ゐる一隊と相ついで編隊を成して基地を發進した、敵艦を狙ふ魚雷はうす氣味惡く光つて各機の腹に抱かれてゐた、時に〇〇時〇〇分、薄暮を利して敵の虚を衝き、これを殲滅しようといふ策である、ソロモン海上空をまつしぐらに進む、雷擊機隊がまづ果さなければならぬことは敵艦隊の捕捉であつた、觸接機から逐々敵の位置が報ぜられては來るが、廣い洋上にその敵艦をうまく摑むことはすこぶる至難…

猛然主力艦目がけ突入

…暗い海上に數條の航跡が…うに尾をひいてゐるのが…點が認められた、M中尉が雙眼鏡を當てて…だ、…せようと努めた、だが殆どこれと同…してゐた、直ちに編隊はその航跡を…夜の幕は寸前にきてゐる…突つ込んで行つた、高度…はぐつと左へ旋回して…火を射出して來ない、素早くこの…敵はまだ自分の末期が直前に…掠めて進んだ、しかもまだ敵は射つ…の隊は目標にした、全速をあげて…づいた時必中の魚雷は…つて走つて行つた、その時敵は…砲門を開いた、すでに暗夜…赤い火花が散つた、あ…花火に譬へ、ある勇士はアイ…來るやうだつたといつてゐる…一番艦の胴腹に命中し…魚雷命中である、N大尉の隊…

凱歌の雷擊隊、續々と歸投

翌日、止めを刺す

勇躍母艦を離れんとする海鷲(海軍省許可 竹田海軍報道班員)

ソロモン群島 (地圖)

社說

總豫算の衆議院通過

一

百卅二億七千餘萬圓に達する明年度總豫算案が十三日の衆議院で可決、貴族院へ送附された。この厖大なる戰時的決戰豫算案の衆議院における審議日數は僅か半ケ月餘にしか過ぎない。これ又戰時的なこととはいはねばならない。勿論これは前例を破つて試みられた議會の事前審議といふことも考慮に入れねばならぬが、そのために議會は決して怠慢であつたわけではない。豫算總會を通じて、この戰時豫算に盛られた重要國策は凡ゆる角度より論議されて餘すところなかつたのである。この衆議院の豫算審議の態度は從來にも增して眞摯であつたし、又決戰議會に相應しい眞劍な勉強振りであつた。我々は總豫算案の衆議院通過を喜ぶと共に、この議會の態度を快く感ずるものである。

二

衆議院の豫算總會における政府側の態度もまたこの際稱揚されてよいものであつた。第一に東條首相の國政に對する明確なる方針の闡明は國民に公明正大さと力強さを感じさせるに十分であつた。又この豫算總會の質疑應答を通じて、幾多の問題がその輪廓と方向を明かにされたことは大きな收穫である。例へば戰力增强の問題に關して戰時行政特例に對する政府の方針や首相の權限に對する嚴然たる解釋が明かにされたといふやうなことは政府と議會が渾然一體の境地において、共にこの戰爭を勝拔かんとする大政翼贊の眞髓に徹したればこそである。

三

またこの一般會計總豫算案と共に十五億に垂んとする朝鮮總督府特別會計總豫算案(追加豫算を含む)も衆議院を通過したが、この小磯總理を反映すべき本豫算案の審議に當つて、新しき半島の地位と使命が再檢討され、重大關心の的となつたことは特に注目されねばなるまい。既ちそれだけこの戰爭遂行に對して重要役割を演ずべき地位が向上し、その使命が加重された半島に對する認識を深めたことになるのであつて、我々はこのことが半島の決戰豫算案衆議院通過の大なる副産物であることをやから祝福し度い。

清掃運動と半島の美化

われ等の京城市街を一つて更に一段と美化し…市の面目を新たにすると共に…なところから道義朝鮮…げて、衛生的にも、氣…にも此處を最も住み心…ところとしたいといふ…てわれ等が首唱したと…に心ある人士の間に反…移され早くも全市に…各團體、學生等もそれ…のよい京城へ』の運動…んとしてゐるのは喜…るところである。…

徵兵制實施記念

武裝銀輪部隊鍊成大會

◇區間 扶餘—朝鮮神宮間 二百四十七粁

◇參加選士 各道知事の推薦による青年訓練所生徒、各道八名、補缺一名

◇期日 第一日三月七日扶餘に集合 第二日論山—公州…(第一日) 第三日扶餘—天安間…第四日大安—朝鮮神宮間…

主催 京城日報社、朝鮮青年團、朝鮮體育振興會

衆院本會議

目標二百七十億 明年の貯蓄額

議會展望

けふの兩院

國民の忠誠に期待

政治の根幹を神意發動に置き 擧國完勝へ驀進

決戰議會から【上】

二百七十億圓の大臨時軍事費の成立に次で十三日明年度一般特別兩豫算も衆議院を通過、舞台はいよいよ貴族院に移つた、かくて議會も漸く峠を越した觀がある、決戰下における政治、經濟の方向も大體明瞭にされるに至つた、こゝに先づ議會に現れた政治的動向を述べてみる

◇

議會においてあらゆる角度から檢討された決戰への施策は擧げてこれ政府の決戰對策は戰時行政職權特例とこれに伴ふ戰時行政特例法案に集約されたといつても過言ではなく、從つてこれに對する東條首相の言明は決戰政治の方向を明瞭に示唆するものといへよう、而してその焦點は首相の權限を强化して行はれる鐵、石炭、輕金屬、船舶、航空機の所謂五大產業の飛躍的增强にあるが、この戰時行政職權特例を通じて見られるところの政治的動向こそ現時日本の性格に革新的な意義を齎すものである

その意義たるや固より今年は特に重大なる決戰期とする時局の要請が然らしめるのである、即ち東條首相は機會ある每に『昭和十八年といふ年を乘り切るかどうかといふことは最も重大なる事柄であり、この年を乘り切ること自體が戰爭の重大なる點を解決することであり、本年は相當深刻なる事態に突入することあるやも知れぬ』と强調してゐるこの言葉を聞いて先づ國民が考へなければならないことは今年こそ日本が文字通り乘るかそるかの大決戰を行ふといふこと、いひ換へれば喰ふか喰はれるか、死に物狂ひの米英に對し一億一心肉彈で突擊しなければならん年であること、これである

かかる場合首相權限の强化といふが如きことは普通外國の常識としては所謂獨裁を意味して考へられがちであるが、東條首相はこの點に關し特にわが國の國體を强調して『大東亞戰爭開戰に際しても外國ならば恐らく戒嚴令を布いたであらうが私は日本國民を信じてゐる』と述べ一億國民が　天皇に歸一し奉つて邁進するところに神意の發動をもつて政治の源泉なりと斷じた、又重要產業の國家管理といふが如き浮說に對しても『國家管理といふが如きは國體に副はぬことである』と斷言、さらに企業形態についても『現狀の施設を最大限活用、國家管理は極力避ける』と言明して決戰下における國家の發動といふが如きはわが國においては極力避くべきであることを自から闡明、ひたすら國民の總意と熱意に俟たんとする態度を明かにしたのである

◇

かくて決戰體制の指導機能は官民總力による日本的な政治力の發動である點が明かにされ、財政、經濟、產業の方向もこれによつて自ら明瞭化されたのであるが、さらに決戰下における戰力增强上決定的な問題は政戰兩略の一致であり國務と統帥の機微たる調和を如何に適切に保持するかといふことこそ、決戰完遂の最大眼目であらねばならぬ、東條首相は二日の衆議院豫算總會の質問に答へて『戰爭の情勢に應じて國務が動く國務の要求を十分に斟酌して作戰は行はれる、統帥府と政府は常に緊密な連繫をもつてこの間を規律してゐる、現役軍人の總理大臣は將道ではない、然し戰爭を對象とするときこれは非常に大事なことであると考へる、私が將來陸軍大臣を辭める場合においては總理大臣として重大な決意をなす時である』と述べ、國務と統帥の重責を一身に負うて自ら政戰兩略の一致調和に今後とも挺身せんとする意圖を明にした、決戰下の統帥を律する上において注目すべき發言であり同時に國政指導の根幹に觸れた注目すべき發言であつた、いひ換へれば國政全般が悉く決戰への作戰を對象として行はれたこと、國民の前に明瞭に披瀝されたのである、しかしてこれによつて銃後卽ち戰場の國民的士氣もいよいよ發揚さるべく『國民の忠誠心に期待する』といふ首相の言葉にも異常なる迫力が感じられるのである

◇

一億一心決戰に突入せんとするこの政治的動向の中にあつて徒らに掛聲倒れといふが如きは一切許さるべきではない、東條首相は一日の貴族院委員會の席上『國民の足並を亂すやうな惡質な言動は高官といへども斷然處する』と强調してゐる、決戰とは文字通りわれわれが生死の關頭に決勝を挑んでゐる狀態を示すことであつて、この間一切の理窟は無用である、勝たんがための體制の中にあつて流說必ずしも皆無とはいへない、今日極めて注意すべき言葉である

國民のお互ひが嚴に戒しむべき問題である、吏道の振肅についてもしばしば首相の發言を見てゐるが官民一體が今日ほど切實に要請されるときはない、國民總決束の上からいつても是非とも行政の末端にまで滲透せしめなければならぬ課題である、卽ち今日の政治においては動もすれば政府の强權と誤認され易い政策が屢々行はれるのであるが官民の精神的綜合あつてこそ初めて決戰にのぞむべき最高度の統制は行はれるのであつてその全般は指導者たる官民の言動に左右されること極めて多大といはなければならぬ、喰ふか喰はれるかとはいへ、それは國民の油斷に對する警告である、首相の施政演說においてわれわれがはつきり肝銘してゐる如く、皇軍はすでに大東亞の全域を掌握して戰爭遂行資源を確保すると共に前衛基地の强化ならびに軍事基地の設定など軍略的には敵を壓倒し盡してゐるのである

しかもその必勝の軍略的基礎の上に國民は上御一人のもと三千年の傳統の前に不敗を確信してゐる、東條首相はこの確信の下に國民の忠誠を信じ國政の一切を『官民一體』に任せてゐるのである、官紀嚴正の意義はこゝにあるのである

◇

半島の問題としては衆議院委員會において朝鮮總督府の內務省移管に關聯して總督の地位が取り上げられたがこの問題は從來屢々拓務大臣と朝鮮總督の地位について論ぜられたものと同樣のものであつて、當時の首相は『諸君の常識にお任せする』といふ意味のことを答辯したと記憶してゐる、全くその通りで、朝鮮統理といふ特殊の概念をうけて總督の官を拜してゐる以上樺太廳長官などゝその地位または職責を同一に論ずべきではない、總督の權限はこれによつて微動だにするものではないつて朝鮮總督府內務省移管の意義は半島を皇國の純國土とする點に重大な意義を有するのであつて內務省と朝鮮總督府の行政一元化だけを意味しない、內鮮一元は決戰築中への一元であつて、今日の如き高度の國策が國內の一部に滲透せざるが如き道理はあり得ず、總督は特殊の地位に立つて適宜に國策の統理運營に當るのである、しかして現下半島に課せられた重大問題は半島の完全皇化である

東條首相の絕叫する『國民の忠誠心』もこれを斷然として發現されるのである、同時にこれをもつて初めて半島の負荷する戰力增强は果せられるのであり、卽ち高度の皇化統理が切望される所以と考へられるのである

殖銀の業績順調

第四十九期末の成績

殖銀第四十九期末における營業成績は、半島第二次生產擴充計畫に基く重要產業の生產力增强にまた朝鮮中小商工業資金融通損失補償規程による貸出取扱ひに力を注ぎ一般金融の業務向上をはかつた結果その業績は極めて順調な推移を示し諸貸付金殘高十二億七千七百六十八萬餘圓で前期末に比し一億二千二百二十四萬餘圓一割六厘の增加を示し、一方國債保有高また二億三千三百六十四萬餘圓を示現するに至つた、次に主要業務の梗概を示せば大體左の通りである

◇公共及び產業貸出　長期金融に屬する公共及び產業金融の當期中の取扱高は貸出二億九千七百四十五萬餘圓、回收二億六千六百卅六萬餘圓、期末貸出殘高五億二千九百八十二萬餘圓となり前期末に比し三千百九萬餘圓、六分二厘の增加となつた、右の內公共貸出殘高は二億四千四百三十三萬餘圓にして前期末に比し二千二百八十三萬餘圓、一割三厘の增加となつた、なほ主として商工業組合、水產團體への貸出および中小商工業資金融通損失補償規程による貸出の增加に基くもので一方產業貸出の殘高は二億八千五百四十八萬餘圓と前期末に比し八百廿五萬餘圓三分の增加となつた、なほ引受債券の當期取扱高は引受高一千五百九十一萬餘圓、回收高一千六百六十九萬餘圓、期末殘高二千六百五十六萬餘圓と前期末に比し七十八萬餘圓二分九厘の減少となつた

▲商業貸出　當期取扱高は貸出三十一億三千六百九十五萬餘圓、回收三十億四千五百七萬餘圓、期末殘高七億二千百二十三萬餘圓と前期に比し九千百八十七萬餘圓、一割四分六厘の增加となつた、右は主として手形貸付による時局產業資金米穀統制資金の貸出增加による

▲貸出資源　當期中の債券發行高は五億四百六十三萬餘圓、償還高一千五百十萬餘圓期末發行殘高七億六千五百六十八萬餘圓となり殘高は前期末に比し三千九百五十三萬餘圓五分四厘の增加となつた、一方預金勘定は期中受入高五十億九百八十五萬餘圓同拂戾高五十一億五千五百五十五萬餘圓、期末殘高五億六千五十八萬餘圓で前期末に比し四千五百七十萬餘圓七分五厘の減少となつた、右は季節的需要に基く金融預金の一時的引出によるものである

▲朝鮮貯蓄銀行代理店業務　期中受入高一千九百四十三萬餘圓同拂出高一千七百二十九萬餘圓期末殘高三千五百四十九萬餘圓、一方貸出は三十二萬餘圓、同回收高八百七十二萬餘圓期末殘高一千七百四十八萬圓で前期末に比し預貯金殘高五百九十四萬餘圓一割一厘、貸付二百七十九萬餘圓一割九分の增加となつた

商工會議所の改組

八月には發足を見ん

【東京電話】從來の商工會議所を府縣單位に改組すべき商工經濟會については法案通過後なるべく速に新組織を實現すべく商工當局でも着々準備を進めつゝあるが、大體七月ごろまでに準備を完了し、新組織による發足は遲くとも八月ごろではないかとみられてゐる、なほ改組を契機に從來の會議所首腦者の入替へも行はれるのではないかとされてゐる

殖銀九分据置

殖銀では十三日午前十時から本店に第四十九回定時總會を開催、當期利益金處分案（配當九分据置）を附議可決、田中頭取の監事進辰馬氏は再選重任となつた利益金處分（單位千圓）

當期純益金四、二八三、前期繰越金二、一〇二、合計六、三八五（この處分）缺損補塡準備金八〇〇、配當平均準備金三五〇、特別積立金六〇〇、役員賞與および交際費九五、舊株配當金（年九分）一、三五〇、新株配當金（年九分）一、〇一二、後期繰越金二、一七七

糧穀配給組合役員會

京城府糧穀配給組合では十二日午後四時から同所に役員會を開き小笠原組合長以下十二名の役員ほか府から古市府尹も臨席企業整備と新機構に基く配給地區調査その他企業合同に關する諸問題につき種々協議を遂げたが組合としてはあくまで三月一日から新機構による發足をめざして晝夜兼行、準備に當つてゐる

全鮮商工相談協議會

四月上旬、京商で開く

決戰下、商工業者の進むべき針路を明確にして經濟戰力の增强をはかるため、朝商附設の中央商工相談所では來る四月上旬京城商議會議室に全鮮商工相談所協議會を開催、當面の緊急課題たる中小商工業整備上の諸問題並に業者の國策への協力指導方針、中央と地方相談所の實際生活狀況等につき研究的立場から眞摯且つ愼重な檢討を加へることになつた、協議事項は左の通り

一、決戰年度における各地中小商工業者の指導方針

二、商工會議所機構改革に卽應すべき商工相談所の積極的活動方針

三、十八年度における全鮮および各地方商工相談所連絡會の共同事業決定

船舶運航統制會創立總會

設立準備中の株式會社朝鮮船舶運航統制會（假稱、資本金五十萬圓、全額拂込、社長劍持武氏）は來る十五日遞信事業會館で創立總會を開催することになつた

南電配當据置

南鮮水力では來る二十七日午後二時から同社會議室に於て第六回定時株主總會を開催、當期諸決算案を附議するが建設配當は五分据置に內定してゐる

日本印協改組

印刷業の統制機構を確立

【東京電話】印刷業の統制に關しては現在設立をみてゐる百數十の工業組合が何れも資材の受配機關にとゞまり何ら全國的組織もなく種々支障を來してゐるので商工省ではこれが統制を徹底するため日本印刷文化協會を中心とする統制機構を確立することとなりその統制方針を十三日附をもつて各地方長官宛通牒した

一、日本印刷文化協會を統制の中樞機關とする、現在印刷關係工組が商工省または地方廳より配給を受けてゐる資材は今後日本印刷文協または同協會の道府縣支部に配給するやう改める

敵性商標抹殺へ

特許局で研究中

【東京電話】特許局當局では、現在出願中の敵性語商標はこれを許可しない方針の下に臨んでゐるが最近敵性語に特別顯著性を認めることの可否が問題化しつゝあるに鑑み、積極的な登錄濟みの敵性語商標取消に關して愼重考究中の模樣であるが若しこれが實現すれば藥品および化粧品への影響は極めて大きいものがあらうとみられてゐる

四港運會社開業

決戰下港灣荷役力の增强と陸運との一元化を目標としてさきに遞信局より指定された鮮內十主要港の港灣會社設立準備はその後着々進捗し釜山ほか三港はすでに會社設立を終り營業を開始したが、他の仁川、浦項、元山、海州、鎭南浦、城津の六港はそれぞれ今月中に設立の運びとなるはずであり十社設立完了後の總資本金は一千五十萬圓となる、なほ會社設立總會を開始せる分は左の通りである

▲釜山港運株式會社（資本金三百萬圓、社長西本氏）▲木浦（百十萬圓、社長朝見氏）▲群山（百十萬圓、社長大澤氏）▲馬山（四十五萬圓、社長河野氏）

油肥聯總會

油肥聯では來る廿七日定時總會を開き十八年度收支豫算および事務分掌規程改正の件を附議する、なほ右の總會に先だち委員會を開き鮮內油肥工場の整理統合について具體的な協議打合せを行ふ模樣である

掃除の七功德 1.

朝鮮軍報道部長 倉茂周藏

先日、ある結婚式に參列した、若い御夫婦が希望に滿ちた喜びを湛へてゐる、うしろの床の間には例の如く尾上の翁と媼が仲よく箒と熊手を持つて、これまたにこやかな長壽の笑顏を綻ばせてゐた、『お前、百（掃く）までわし九十九まで（熊手）』よくいはれてゐる文句を思ひ出して、私はひそかに微笑を湛へた

◇

最近、清掃のことがやうやく世間の關心を集め、總力聯盟でも、この二月の申合事項として、清掃運動をとりあげ『朝鮮の大掃除』を目論んでゐることは誠に我が意を得た思ひがする

僕の道掃除は唯國民としてやるべき事をやつてゐるのに過ぎないのであるが、尾上の翁媼の姿をみて、清掃の功德を發見したやうな氣がした、よく考へてみるとなるほど清掃にはいろ〳〵の功德があるやうだ、私はこれを『掃除の七功德』と呼んでゐるが、これから二千四百萬愛國班の皆さんにこの功德を御紹介したいと思ふ

その一　家庭圓滿

冬は寒い、ことに朝の起きかけは寒さが一層身に沁みてつい〳〵床ばなれが惡いものだ、もう時間ですよと主婦に叩き起こされて、父と子供があわてふためいて、會社と學校に出掛けるやうな家庭があることと思ふ

また寢床の中で、煙草を吹かしながら新聞を讀み、朝の仕度は主婦にまかせきりといふやうな情けない旦那さんも必ずあると思ふ

これでは家庭圓滿は得て望むべからずだ、主婦とゝもに起き出して、男は外を掃除して一汗流す、そしてすがすがしい氣持ちで神佛を拜み、食卓についてみられよ、まさしく氣分爽快、家庭圓滿は我が家にありだ

國防献金【陸軍】

九圓四錢　京城芳山公立國民學校松山譽三▲三圓六十五錢京城獎忠公立國民學校二年三組金城鶴子▲一圓十四錢京城獎忠公立國民學校二年三組宮川貞子外三名

恤兵金

二百五十圓　京城若草町一〇六　田中督祐

七十五圓二十七錢　日婦西四軒町分會梅田喜久▲二十圓京城黃金町六ノ二〇上田裕昭▲十圓京城本町五ノ三六中村茂男▲九圓五十一錢京城練兵町二五加藤和夫▲七圓六十六錢京城弘濟町一二八久留花子▲三圓三十錢京城淸雲國民學校四年松山京子▲二圓京城和泉町六南大門國民學校白井通二▲三十五錢京城齊洞公立國民學校二年二組吳世[illegible]

恤兵金【陸軍】

二百五十圓　京城若草町一〇六　田中督祐

五十圓京城西四軒町山西ノ一〇日蓮宗妙法院

累計國防献金八十五萬七千三十三圓十三錢

恤兵金二十一萬七千七百十六圓三錢

總合計百七萬四千七百四十九圓十六錢

本社寄託献金【十、十一日取扱分】

國防献金【海軍】

百圓　京城弘濟町一〇四野村本店工場從業員一同

五十圓　平安北道宣川邑　高野山普照寺御詠歌隊▲五十圓京城大島町三一愛國班第十六區一同▲五圓八十八錢京城新堂町近藤ルリ子、高宗美智子▲五圓六十五錢京城錦町鐵道官舍十八號ノ二米沼美穗子、同稔▲五圓京城大島町五湯澤商店

生產擴充と半島の使命【下】

惠まれた地下資源 總力を擧げて增產へ

四

朝鮮が生產力擴充を力强く推進し得る最も歩のいゝ條件は何と云つても地下資源と動力資源に惠まれてゐる點であらう、地下資源としては、金、鐵鑛石、石炭及びカーボン原料の黑鉛或はアルミニユームを作るのに缺くべからざる礬土頁石の原石たる礬石等約一百種の鑛物が埋藏してをり、このうち百卅七種は現に利用してゐる、而も生產力擴充に必要な鑛物が悉く含まれてゐるのは朝鮮の强味である、同時に動力資源の一たる電力が豐富にまた比較に供給出來ることは、取りも直さず鑛物の精鍊冶金を興し、輕金屬製造を盛にし化學工業を發展させることになるのである、結局地下資源と動力資源の兩者が相共に携へて朝鮮の生產力擴充の土台をなしてゐるわけである、かくして朝鮮では所謂五大部門のうちでも鐵、石炭、輕金屬の增產に對しては課せられた分を迅速に果しもつて我增產戰の金城鐵壁たらしめる決意を堅むべきである、殊に朝鮮は地質の關係から黑ダイヤといはれる石炭のうち無煙炭が無盡藏である

これは在來製鐵用に向かないと云はれてゐたが官民關係者の苦心研究の結果、無煙炭を利用して小型溶鑛爐で製鐵の望みがついた、無煙炭が製鐵用に使へることは確に革命的意義を持つものだ

戰ふ日本が 切實に澤山の鐵を必要としてゐる時、無煙炭により簡單にして廉價に鐵を生み出せるとしたらこれぐらい得なことはまたとない、而も朝鮮にとつても有り餘る無煙炭をこんなに有益に使へるならばこれに越したことはないのであるこれが朝鮮の石炭增產の重要性は益々强くなつて來る、だからこの前の歐洲大戰の時聯合軍を統帥したフランスのフオツシユ元師が英國の坑夫に送つたメツセーヂの文句にある『英國の坑夫諸君、余を助けよ石炭こそは　勝利への鎖鑰である』といふ言葉は今一度想起し、銘記してをいて價値があると思ふ

五

生產力擴充がうまく運ぶかどうかは一々**資材と勞力**の問題にかかつてゐる、戰時においてはいろいろなところに故障が生じこれらの確保がとかく滑らかにゆかぬのが普通である。朝鮮だけがこの例外に置かれる筈がない、寧ろその度合は深刻でさへある、何故ならば資材は殆ど大部分が內地に賴つてゐるためそれを獲得することは日增しに困難となつて來るのである、朝鮮にはこれを自給するだけの設備がなかつたし、これから自給する方法を講ずるにしてもいろいろ困難が起るので、一朝一夕に解決がつく性質のものでない、次に勞力にしても成る程朝鮮は勞力の給源があるにしても、これの訓練が行屆いてゐない、その上**物資の配給**が乏しいため勞働者はやゝもすると職が落着かない傾向がある、これらは、矢張り生產力擴充の癌となつてゐるわけだ、この問題について小磯總督は記者に對し

勞務が百パーセント利用されることが望ましい、それには先づ勞務者の訓練が第一である、そのために一時職場のために拂ふべき努力が減るといふ缺陷はあるだらう、併しこの訓練を經た成果は一時のロスを補つて餘りある程の成果を得るに至ることは過去の實績が證明してゐる　第二は勞務者をものに熟練させることはものの**能率を向上**させることである、次に一定の職場の者は成るべく他に轉ぜざることが必要である、職場を轉ずることはその間において熟練を損ふのみならず努力の損失も亦頗る大である、これが今日生產擴充を阻害してゐる重要な點である

と語つたが、これにより總督が生產擴充を遂行するのに勞務者の訓練と熟練について深い關心を寄せてゐることを窺へるのである、それにしてもこれらの障害は未だ朝鮮の生產擴充にとつて決して致命的なものでなく、施す術は多々あるのだから、この際强度の國家總力を發動しても、障害するところを片つ端から取り除き、そして戰ひに勝つための生產力增强の方向に推し進めるやうにして欲しいものであると思ふ

六

由來短期戰は武力のみが戰勝の決定的要素であるのに反し、長期戰になると經濟力がこれに代り戰力は**戰爭手段と**して決定的な地位にたつと云はれてゐる、それ故に米英との戰ひに絕對不敗の態勢を固めるには武力の戰場における勝利と併んで經濟戰においても、決定的勝利を收めねばならないのである、この勝利の前には前線、銃後の區別があつてはならない、況んや內外地の區別などあり得べきものでない、重ねて小磯總督が昨年十月の**道知事會議**で『銃後に於ける生產力の偉大なる昂揚こそは國民の鬪志を反映し戰勝の根幹を培ふものでありまするが故に、生產擴充は現下國家の絕對的要求であります』と述べた言葉を玩味し、半島の總力は增產戰に注ぎその逞しい威力を發揮しようではないか

隨想錄

親切といふことが戰時下の人心の荒んでゐる場合、特に要求されてゐるが、これは人と人との關係においてのみ必要なものではない▲手近なところに例を取つていへば、一枚の安全剃刀の刃と雖も親切な心を以て作製されねばならないのである。この場合、物資不足の折柄だ、これで我慢せよといふ言葉は、時局を食ふ行爲である▲一枚の安全剃刀の刃に必要な鋼鐵は、親切に作るにしても、いゝ加減な態度で作るにしても同じ量を要するのである　しかも、親切の心をもつて作れば同じ物を二度三度と使用に堪へるやうに仕上げることが出來る▲然るに、その心なくして作れば、一度と雖も完全に使用出來ないものを、市場で賣らねばならぬ結果となる。それでは、不足な物資を粗末にすることになり、大きくいへばこれは國家の大切な資源を濫費する結果となるのである▲それだけならまだ我慢するとして、さういふ製品が、大東亞共榮圈の全市場に出たとき何うなるか。日本の强さに敬服し、日本を親國と恃んで共生同死の運命に立たうとする民族が、日本を輕蔑し、米英の製品と比較して日本文化を疑ふことにもならう▲萬一そのやうな結果を將來するとなつたら、忠勇なる皇軍の將兵が血をもつてなしとげたものを銃後の不親切によつて片つ端から叩き壞して行くことにもなる。誡るべきは不親切といはねばならない▲このやうに考へて來ると、親切は人のためにすることでなく、自分自身のためのものである。この點をよく認識し〳〵心を籠める〳〵ことが、戰爭に勝つことだとして、一日と雖もわれ等はかりそめの生活をせぬやう戒め合ひたい。

文化

イカモノクヒ（下）

高木五六

第一次世界大戰に獨逸は戰に勝ちながら食糧で敗れた。今日食糧があらゆる角度から眞劍に考へられ、着々對策が實施されて居ることは、勝ち拔く日本の賴母しい姿で心强い極みである。だが、私の最も恐れることは、對策の方針なり內容が量的確保に急にして、質的吟味が餘り顧られず、跛行對策になりはせぬかといふ懸念である無論量の確保が先決ではあるが、量の不充分な時程質の考慮が大切である。量の不足を質で補はぬ限り、何時かは體力的に體質的に低下を見ることは免れず、延いて殖に、更に次代の子供の健康に好ましからぬ結果が現れることを想ふと、光輝ある日本が興亡を賭けての非常の秋だけに杞憂も亦一段と大きい。

體力の增强に動物の蛋白質の重要なことは今更いふ迄もないとして、その物資を大衆を對象として實際的に考へた場合、何れから其を獲るかが萬人共通の惱みである

だが、私は今こそこの解決の一部を所謂イカモノ食品に見出さねばならぬと强調したい。

歐米醫學化學は大衆が好むと好まざるとに拘らず、着々イカモノの榮養價値を科學的に高く評價しつゝある。ホルモン資材が多くの臟器にあることは、イカモノのために萬丈の氣焰である。

イカモノ食品の確保については敢て行列を作らずとも、購入無用で自然界の到る處に澤山な自由採集が許され、食用昆蟲の類丈でも八目七十九種の數に上つて居る。古來自然人のみに見られた立派な健康の源泉は、槪ね此處に秘められて居たと解する。

雛が母鷄を取り圍んで、その一擧一動に小頸を傾げながら、見習つては同じやうなことを繰返して居る。ココ〳〵と咽を鳴らして親が餌をつゝくと、雛も亦その通りのことをして居る。

今年八歲になつた私の三男は、末だ五、六歲の頃から父親が秋每に陽當りのよい緣先で、山から獲つて來た地蜂の巢の白い蛆を一つ一つピンセツトで拔き出すのを珍しさうに見まもつて居た。私は或る時、一つの蛆を生のまゝ噛み込み『御馳走になるんだよ』……と敎へたら、怪訝な表情で父の顏を見つめて居た。だが間もなく子供も同じことを平氣でするやうになつた。勿論今では蝗や地蜂の佃煮は彼の好物となつて居る。

未知の食品を一般食品にまで固定させる爲には、矢張りかうした過程を過去に於て辿つたことであらうし、將來もそれが繰返されねばならぬであらう。

不連續線

人の行方

人がないといふ。ほんとに人がない。これはと思ふ人間は、どし〳〵他へ移つてしまふ。そして、殘つてゐる人間といふのは、四五年前に比べて、たしかに質が落ちたといふ聲も聞く。

それでは、それ等の人は、どこへ行つたといふのだらう。どこの會社へ行つても、官廳を覗いても、なる程、こゝには人がゐるといふ程も目立たない。人よ。どこへ行つたのか。

新映畫評

"愛の世界" 東寶作品

☆……東寶作品『愛の世界』佐藤春夫、富澤有爲男、兩田讓治の共作を如月敏と黑川愼が脚色、青柳信雄が演出してゐる、山猫トミと呼ばれる野性的な不良少女が純眞な心に立ちかへるまでの物語

☆……不良少年少女を扱つた映畫は今までにもいくつかあつて題材としては珍しくないが、この作品の特異とするところは、指導する敎母の熱心な心遣りのほかに大自然の與へる感化を特に强調してゐる

☆……これに對して演出者の力量はともかく暗さがなく、奔放な感覺をみせ、カメラも流麗な展開ぶりだが、劇性には乏しかつた、殊更に單純な物語であるから、もつと鋭くトミの心がつかまれてゐなければならない、トミの高峰秀子は柄が大き過ぎた然し未熟ながら近來にない新鮮味のある作品ではある

大相撲映畫

昭和十八年度大相撲春場所の記錄映畫は十五日から京城で封切られることになつた卽ち十五日から十八日までは京日文化劇場で前篇を、後篇は白系で、十九日から廿一日までは後篇を京日文化劇場で、前篇を紅系で上映、前後篇を通じて上映するのは京日文化劇場である

お歌壇

海州　本吉永吾

戰へる國還ましく月の夜も製鍊所の煙空にたなびく

光州　岬正美

家傳藥有りと聽きたる奧深き家をためらはず吾は訪ひたり

椛峴　朗山守男

幼兒とともに暮らせどわが心幼からざりみづからを責む

水原　神山浩

數々の想ひはあれどひたすらに見等の作文讀み居り吾は

【雜詠】一月廿日（土）締切▲官製ハガキに一人一枚三首限り

商業登記公告

“手持消費”を機に愈よ期す“公正”
ご安心、薪炭の配給

昨年十一月から木炭、薪の愛國班配給に見事な腕前を發揮し、せつかくの燃炭よりは配給の圓滑を圖るよくしてゐる京城府經濟課では更に近く機構を整備、來年の配給には一層公正を期して進むことゝなり十三日同課では次のやうに語つた

現在はまだはじめたばかりで一般家庭には以前からの手持品があり、實際の正確なことはわからないので配給制實施の第一年はどうしても公平な配給は行はれなかつた、然し、愈よ一年經てば各家庭の手持品はなくなるであらうからそれから先は全く公正な配給を期することができるやうになる、府民もこの點信賴して今後薪炭の買溜めなどは行はぬやう希望する次第だ

譽れの表彰狀
府尹から傳達

紀元節をトして京畿道から表彰をうけた京城本町一丁目第二區第七班長北村三郎氏外十七班長の防諜訓練および規律優秀者の表彰狀傳達式は十三日午前十時から京城府廳会議室で行なれ古市府尹からそれぐ傳達したが最後に北村氏は受賞者を代表して答辭を述べ同十時四十分式を閉ぢた

齋藤氏の感激

永登浦南部の名班長と謳はれた西部第一班長齋藤吉幸氏は十一日紀元の佳節に優良班長として京畿道知事から表彰され十三日午前十時京城府において傳達式が行はれたが、齋藤氏は感激して次のやうに語つた

何の奉公も出來なかつた私が今回圖らずも表彰され汗顏の至りであります、今後は駄馬に鞭打つて一層の御奉公を致したいと念じてゐます

町會が町民を錬成

京城協町聯盟では町内青年を錬成のため十三日午後七時から同町會事務所講堂で『青年錬成會』を開催、總督府事務官三浦一郎氏を講師に招聘して『内鮮一體世界一家の根本原理に就て』の講演を聽取、多大な感銘を收めて同九時半散會した

家庭防犯のお手柄

『荷の警察官の手柄』住所不定前科二犯關川鳳洙(三)は十二日午前四時頃京城錦町一六八松山文衛方に忍入り自轉車一台を盜み出さうとしてゐるところを家人に騷がれて逃走中折柄巡邏中の同町家庭防犯當番金永淑(三)及び警防團員金田水德(三)の兩君に發見され逮捕の上永登浦署につき出されたが松下署長は兩君の行爲を賞め十三日金一封宛を贈つた

“御奉公の積りで……”
家財の眞鍮器全部を軍に獻納

京城府外楊州郡議政府天原利江さんは十三日午後二時朝鮮軍を訪れ、自宅で使用中の眞鍮食器、燭台、火鉢など全部を持參、鄭兵事部長を通じ獻納の手續をとつた

鍮器獻納を決心したのは國家に對して未だ何等の報恩をしなかつたのを心から詫びたものでその赤心は感激を呼んだ【寫眞＝鍮器を獻納する天原さん】

寫眞に寄せられた獻金——京城三坂通三三一日高秋利氏は——皇軍の勇戰奮鬪に感謝して金百圓を國防獻金へ▲京城漢江通一ノ二五二大岩平作さんは“銃を執ることの出來ない私に御奉公出來るのは獻金だけです”と五十圓を陸軍へ

行商權さんの赤誠

上往十里町四九六金物行商權輔炳氏(三)は十三日東大門署を訪れ、金二百五圓八十九錢を獻金依賴したが同氏はこのほど同署管内で行商中、愛國班員の金屬回收の熱誠ぶりに感激、祖先傳來の眞鍮器を賣却して獻金したもの

彈丸資金に獻金箱

學費を節約して第一線に彈丸を贈りませうと鍾路惠化町の女學校では芳村校長の肝煎りで三學期の初めから同校に『愛國獻金箱』を備へ付け、毎月全校生の財布から十錢以上の彈丸資金を貯めることになり、多大の成績をあげてゐる、なほ“國兵の母”に備へ國語常用に一層の拍車をかけることになつた

ソロモンの米鬼に憤激
持合せ金全部を匿名で獻金
龍山署寄託

大東亞戰爭下相次ぐ戰果に沸き立つ一億國民の感激はいやが上にも必勝信念を固めつゝあるが、十日夜のガダルカナル島及びブナ方面戰況ニュースに感激した永登浦町匿名の某氏はその感激を獻金に乘せて同午前十一時頃左の手紙に添へ金一封を永登浦署に差し出し名前も告げず立ち去り宿直の朝長高等主任を感激せしめた獻文面は左の通り

只今ガダルカナル島及びブナ方面戰況に關する政府委員の談話をラジオにて拜聽悲憤感激にたへず仇敵米英をたゝきつぶす御用の一端にもと家中の有金全部を集めましたが給料日前の俸給生活者の所持、誠に僅少でかへつて御迷惑乍ら適當の方面に御取次ぎ下さい

……増産戰線へ……

牛肉は欲しがるまい
牛公はごしく應召してゐる

“月に二回は必ず食べさせます”と京城府が府民に誓つた家庭用食肉の配給も昨年十一月以來は一回となつて生牛は大切な生産用のために使役され、肉を食ふよりまづ耕牛へとその轉用が専らとなつたが、代つて滿洲より大量の馬鈴薯が入荷、續いて野菜の豐富な家庭愛國班への配給は野菜好きの京城府民を強く喜ばしてゐる、然し京畿道下各部落の增產計畫が進むにつれて益々耕牛の必要性が顯著となつてくるので京城府經濟課長は十三日次のやうに談話をもつて府民に肉食の節約を希望した

稻垣課長談　これだけの大戰爭をやりながらまだ樂な生活をしてゐること自體が有難いことだが、最近食肉配給が相當窮屈になつたのは生産方面に耕牛を多數必要とすることになつたからである、それでも月一回の食肉配給は今後も行ふ豫定であるが或ひは二ケ月に一回となつても府としては公平に分配した結果であるから決して不平不滿をいはず百萬府民の節肉總進軍を改めて今月から行つてもらひたい

軍教に張切る鮮鐵健兒

戰場訓練により鍛錬を叩き込んでゐる鐵道從事員養成所では十三日午後一時から京城師團江上中佐の指導を受け鐵道グラウンドに於て査閲に準ずる教練の各種目を實施したが、射擊に分列式に各個教練に鮮鐵健兒の意氣を遺憾なく示した【寫眞＝鐵道養成所の豫備査閲】

愛園少尉平壤へ

仁川憲兵分遣隊長愛園始少尉はこの程平壤憲兵隊勤務に榮轉することゝなつた、十五日午前七時二十分上仁川驛發で赴任する

“區長に續け”
清掃に奮ひ起つ婦人の一團

下水の溝渠から道路の清掃、芥箱に溢れた廢棄物の處理などにてきぱきと男も及ばぬ程の手腕を見せて“汚れた町”の美化に專日なく奉仕する婦人の一團、この感心な美化奉仕隊は京城榮町第九、十、十一區の婦人達で二年前、萩山十區河内山十一區の兩區長さんが率先して町内の道路清掃を毎日始め出したところ同三區の婦人達四十名は申し合せたやうに“この區長につゞけ”とばかり手に手に箒を持つて毎日午後一時から一時間餘り全員揃つて道路の清掃を始めたもので、今では下水の浚渫もやり、道路、堤防路の破損修理、神祠境内の清掃などに一丸となつて奉仕、文字通り汚れた街の一掃に尊い汗を流してゐる

貯蓄で擊敵
愛國班へ回報通達

“米英を貯蓄でたゝく”貯蓄申合せの愛國班回報第十八號は、十三日一齊に京城府から各町聯盟に向けて發送された

眞心は一目でわかる貯金帳、心ゆるめば財布もゆるむを標語として十九項目にわけられた貯蓄方法の中には俸給から差引く天引貯金、一度貯金したら絕對出さぬ絕對貯金、初物を神に獻ずる習慣を貯金に替へた御初穗貯金など、最後は廢物を賣つた廢物貯金に至るまで各種の貯蓄法の券を紹介して最後の九億貯蓄達成運動に拍車をかけてゐる

白衣勇士を眞心の慰問

國を護つた傷兵に感謝しませうと、仁川府仁川愛國婦人會支部では、代表八名が支部長池田ノリ子さんに引率されて十三日午後一時過ぎはる〴〵龍山陸軍病院本院を訪問、院長の許に赤誠の慰問金百四十圓を差出したのち一同は各病室を廻つて持參した花を同じく各病室で花を活け、慰問用の煙草三百箇を差し出し白衣の勇士達と和かな慰問の半日を過し傷兵の再起奉公の日の一日も早かれと祈念し四時引きあげた

佛教に時局即應の“活”
全南の五大本山が革新會

……半島縮刷版……

【光州】睡眠狀態にさまよふ朝鮮の佛教に時局即應の“活”を入れるため全南では道内五大本山の住持を去る十日道廳にあつめ武永知事、鳥山内務部長と膝つき合はせて佛教刷新と銃後にあつての實踐について熟議をとげたが、その結果何れもこの重大時局に鎭護國家の大役を買つて出ることに意見が一致し

われ〳〵僧侶が奮起して一致團結する秋は來た、その機會を與へられたのは有難い

と何れも皇國精神によつての徒弟を誓つた、殊に團結目標として揭げられた内地佛教々學の視察、寺利經營の改善、佛法の刷新、教化運動の確立には何れも双手をあげて賛成し佛教革新會を結成し道當局の方針と相俟つて活動を開始する

これで道民の精神指導に乘出す寺領は本極りとなつたが、五大本山では寺財として抱へこんでゐる廣大な山林耕地も今後も生産運動に參加して一山の僧侶の衣食の源泉となるのみならず、增産徹底に努力し田畑からは米と粟、山林からは木炭を作り出すことまで相談をして名實ともに世道人心の指標となることゝなつたこの革新會結成は社會に與へる影響も大きいので四月上旬の好季節をえらんで光州で堂々と創立大會を開催し、五大本山から住持以下幹部が大勢參加して戰勝將兵の慰靈祭と讃揚法要を營む豫定である

先生志願の新記錄

【全州】全州師範學校今年の入學試驗は全北道内中等學校のトップを切つて十三日から四日間同校で實施されたが、募集人員に對し入學志願者はなんと二千二百六十名、實に十一對一といふ“難き門”の新記錄を作つたかくの如く志願者が殺到したのは月廿五圓の官費が支給されることにもよるが義務教育制實施に對應しての師範教育擴充方針に基き昭和十九年度から專門學校程度に昇格されるといふ見透しがついたことが原因をなしてをり教員拂底の折柄一般の國民教育に對する關心を強く反映したものであらう

日歸間に合せ運動

【元山】すべてあるもので間に合はせ、我慢しようといふ『間に合はせ運動』が日婦元山支部で行はれる、即ち支部會員を總動員

▲衣類家具の新調見合せ▲手持品のつくり替への工夫等の目標をかゝげて、絕對嚴守を申合せ近く積極性ある間に合はせ運動を展開する

錬成する女學生

【新義州】平北道では八月ごろ新義州府内の宣川保聖の三校生徒を必ず參加させ强行軍を行ふことになつた、即ち新義州から約南高女兩校生徒は新成會場となし、新ててゐる…

伊川郡の大造林

【伊川】決戰下需給の國“江原道伊川郡も大造林計畫を樹立…

大いなる祭【67】
中野實　作
三芳悌吉　繪

愛と彈丸と（一）

枕もとの夜光時計が青白く二時をさしてゐる。第一ホテルの七階の十四號室。

梅時英はさつきからうとりともせず、何度も寢返りをうつてゐる。

美々を許して放してやつた實氏——鋭々しく彼女の口車に乘せられたのではあるまいかといふ疑ひとゝもに、氣になるのは金井の消息だつた。

必ず一度は連絡にかへつてくると云ひ殘して出かけて行つた金井は、その夜たうとう姿を見せないばかりか、彼が後を尾けて行つた十二號室の客もあのまゝ戻つて來なかつた。

ボーイの話では、十二號室の客は部屋を引拂つて行つたとのことで、聞くよりすぐ梅はボーイにいくらかつかませ、十二號室を細部にわたつて調べてみたが、金井の云つたやうな變裝道具もなく、紙屑籠の中には口紅をふいたやうな紙がまるめこまれてゐるぎりだつた。

翌朝目の醒めたのが十時すぎ、ひよつとしたら第十南路の隣々居で金井が待つてゐるかも知れない。さう思ふといくらか氣も休つて、樹はホテルを出た。午から二時すぎ三時頃まで茶館の上つて、茶を樂しむ習慣のある東の市民は恰度今出盛りで、彼は二階の居も大入滿員だつた。彼は二階の上つて、空席を一つ見つけると、賑な食事を命じ新聞を擴げた。

日本軍が破竹の勢ひをもつてマレー半島のクアラルンプールを陷れ、つゞいてカジャン、スレンバンの諸都市を席卷し、東海岸の一部はすでにジョホール州に入したといふ報道が紙面を飾つてゐた。…